

第2学年 国語（書写）

第2学年の学習到達目標

- (1) 姿勢や用具の持ち方を正しくして、丁寧に書くことができる。
 (2) 点画の長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くことができる。

第2学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	文字のせかいをたんけんしよう ・字を書くしせい ・かたかなのれんしゅう	正しい姿勢・鉛筆の持ち方で書く。 片仮名を、一年で学習した筆使いに注意して書く。 横書きの書き方を確認する。 算用数字の書き方を理解する。	正しい姿勢・鉛筆の持ち方 平仮名や片仮名，漢字の筆使い 筆使い…「止め」「払い」「はね」「折れ」「曲がり」 横書きの書き方 算用数字の書き方
	文字の話 ・何の形からできたのかな？	物の形からできた漢字があることを知る。	物の形からできた漢字があること
	もっとたんけんしよう ・画の長さ	長い「横画」を見つけ、画の長さを考えて書く。 長い「縦画」や「左払い」を見つけ、画の長さを考えて書く。	字形の整え方…画の長さ（「横画」） 字形の整え方…画の長さ（「縦画」「左払い」）
	・画の方こう	「折れ」の方向の違いに気づき、画の方向を考えて書く。 「払い」の方向の違いに気づき、画の方向を考えて書く。	字形の整え方…画の方向（「折れ」） 字形の整え方…画の方向（「払い」）
	ひみつを見つけよう ・文字の中心	文字の中心にある「縦画」を見つけ、文字の中心を考えて書く。 文字の中心にある「点」を見つけ、文字の中心を考えて書く。	字形の整え方…文字の中心（「縦画」） 字形の整え方…文字の中心（「点」）
	チャレンジ！ ・楽しかったことをつたえよう	既習事項を生かして丁寧に書く。	既習事項を生かして、楽しかったことを丁寧に書く
後期	たからばこ ・かたかなのひょう	正しい姿勢・鉛筆の持ち方で書く。 片仮名五十音を、画の長さや方向に注意して丁寧に書く。	正しい姿勢・鉛筆の持ち方 片仮名五十音を、画の長さや方向に注意して丁寧に書く 似ている片仮名と平仮名や、似ている片仮名と漢字
	もっとたんけんしよう ・文字の形	文字の外形を理解し、外形を考えて書く。	字形の整え方…外形（真四角，縦長，横長，下が広い，上が広い，中が広い）
	・ひつじゅん	筆順の原則を理解し、筆順に従って書く。 間違いやすい筆順に注意して書く。	筆順の原則…「横画」「縦画」の順に書く，「縦画」「横画」の順に書く。
	ひみつを見つけよう ・画のつき方	画が接するところを見つけ、画の接し方に注意して書く。 画の接し方の違いに気づき、画の接し方に注意して書く。	字形の整え方…画の接し方（「縦画」が「横画」に接する，「横画」が「縦画」に接する） 字形の整え方…画の接し方（「横画」が右に出る，「縦画」が下に出る）
	・画の交わり方	画が交わるところを見つけ、画の交わり方に注意して書く。 画が交わる位置を理解し、画の交わり方に注意して書く。	字形の整え方…画の交わり方（「横画」と「縦画」，「左払い」と「右払い」） 字形の整え方…画の交わり方（文字の中心で交わる）

後期	チャレンジ! ・書きぞめをしよう	正しいフェルトペンの持ち方で書く。 既習事項を生かして書き初めをする。	フェルトペンの持ち方。 既習事項を生かして書き初めをする。
	ひみつを見つけよう ・画の間かく	正しい姿勢・鉛筆の持ち方で書く。 「横画」と「縦画」の間隔の整え方を理解し、画の間隔に注意して書く。 横と縦の間隔をそれぞれそろえることを理解し、画の間隔に注意して書く。	字形の整え方...画の間隔(「横画」「縦画」)
	たからばこ ・かん字の書き方	既習の字形の整え方をまとめ、丁寧に書く。	字形の整え方...画の長さ、画の方向、文字の中心、外形、画の接し方、画の交わり方、画の間隔
	チャレンジ! ・しょうじょうを書こう	既習事項を生かして丁寧に書く。	二つの教材(縦書きの感謝状と、横書きの賞状)から自分の課題を選択し、既習事項を生かして丁寧に書く

評価の観点・方法

(1) 評価の観点 【言語についての知識・理解・技能】 文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。	(2) 評価の方法 自分の良さを生かしたり、互いの良さを認め合ったりしながら学習を深めることができるように、書写ノート・学習プリントを評価に活用したり、自分や友達の作品の良さを認め合ったりします。(自己評価・相互評価) よい子のあゆみでは、毎時間や学期を通じての取り組みをもとに、国語科の「主な観点と達成の様子」の中に到達度で示します。
---	--

特色ある学習方法

(1) 子ども達が主体的に学習を進められるよう、意欲を持たせるための工夫をします。 自分の課題を見つけ取り組む。 学習方法を選択する。(練習用紙、自作のワークシートなど) 学習形態を工夫する。 評価を工夫する。	(2) 日常に生きて働く書写力を育成するための学習にします。
---	--------------------------------

使用教材等

教科書「新しい書写 2年」(東京書籍) 鉛筆(2B)、フェルトペン、赤鉛筆、書写ノート 第3学年から毛筆書写の学習が始まります。学校では、必要な用具を紹介し、購入希望も取りますが、各ご家庭に用具がある場合はそれをお使いください。 (硯・墨(墨液)・筆・下敷き・文鎮(できれば2つ)・新聞紙)
--

留意事項

(1) 学校では、姿勢・用具の持ち方・筆順などの指導を繰り返し行い、合理的に文字を習得し、効率よく書けるようにすることを目指しています。他教科においても、意識させるよう、また、常に自分で確かめたり直したりできるように指導していきますので、ご家庭でも声をかけてください。
(2) 書くことをおっくうがらない子にするために、ご家庭でも、機会をとらえて書くことを取り入れてみてはいかがでしょうか。相手がいて、読んでもらえることは、正しく整えて文字を書くことを生活に生かす絶好の機会です。また、整った字で書かれていたら、しっかりほめてあげてください。
(3) 作品を持ち帰ったら、どんなことに気をつけて書いたのか、学習してよかったこと、うまくできた点などを聞いてあげてください。ご家庭で掲示する場を設けるなど、作品を大事に扱う方法をお子さんと一緒に考えてください。作品を丁寧に扱う心や態度を育てましょう。